

「病院」第51巻 総目次

1992年(第1号～第12号)

() 内数字は号数, 数字は通巻頁数

特集

● 高齢社会と子どもの医療 (1)

高齢社会と子ども	坂東眞理子・高塩純子	18
健やかな子ども社会の実現に向けて	小林和弘	24
小児総合医療施設からみた小児医療の現状と今後の課題	長畑正道	29
障害児・登校拒否児の叫びをききとろう	黒岩秩子	34
〔てい談〕小児医療における病院の役割	小林 登・坂上正道・村瀬雄二	38

● 病院と医療関連サービス (2)

〔座談会〕これからの病院と医療関連サービスの役割	佐分利輝彦・阿部士良・霜島一彦・大道 久(司会)	114
医療関連サービスと行政施策—質の確保と評価認定制度の現状	今田寛睦	123
病院業務の委託・外注の現状	山崎勝彦	129
医療関連サービス四事業の現状と業界団体の活動	佐合金太郎・堀籠章史・鈴鹿征男・中島太郎	137
病院業務委託・外注の経験から	塚田慎吾・入野泰一・牧 泰	143
関連会社による医療関連サービスの提供と問題点	井上廉太郎	146
ヘルスケアビジネス—医療に対する新しい産業政策のあり方	田中 滋	149

● 病院クリーン作戦 (3)

医療廃棄物から医療、環境、地球を考える	白戸四郎	214
医療廃棄物の適正処理とは—その実態と今後の課題	渡辺 昇	224
改正廃棄物処理法と感染性廃棄物	中川晃一郎	228
病院から出る廃棄物の処理—自家処理か委託処理か	古川俊之・川畑貞美・大塚宣夫	230
〔座談会〕病院として環境問題にどう取り組むか	伊藤伸一・酢屋ユリ子・長澤 泰・河北博文	237

● 看護業務のスリム化 (4)

看護職員の現状と「看護業務検討会」の発足	大井田隆	298
看護業務見直しの戦略とその実践	新道幸恵・森 道子・西野 薫・車田桂子	300
看護勤務体制の見直し	伊藤 研	305
院内他部門との業務分担の調整—8つの従来業務を他部門に委譲して	山崎 絆	312
コンピュータを導入して	坂井靖子	317
薬剤業務改善による直接看護業務の充実	南部増男	321
申し送りに患者の参加するウォーキング・カンファレンスをとりいれて	河津美知子・稲田基子	327
看護助手が行う看護「補助」業務について考える	岸本まき子	330
〔てい談〕見直しから実行へ—看護業務はどこまで整理できるか	西垣 克・青木孝子・村上美好	335

● こんな勤務医はいらない (5)

〔座談会〕こんな勤務医が欲しい—病院が期待する勤務医とは	伊賀六一・桑名昭治・坪川孝志・竹内 寛	394
勤務医と病院管理者のあいだ	紫田淳一・本宿 尚・廣田耕三	402
勤務医として勤めなくなる病院とは	会田敏光・佐藤信二・牧野浩充・矢嶋 聰・池袋信義	409
勤務医の条件	山根至二	415
わが国における医師の就業形態の推移と勤務医の将来	星野桂子	418
医学生からみた医師の将来イメージ	寺崎 仁	425

● 保健・医療・福祉複合体 (6)

住民の自営性を重視した「涌谷町町民医療福祉センター」の具体的取り組みと課題	前沢政次	488
ヘルスケア・コミュニティづくりを目指して—「長岡医療と福祉の里」の理念と実践	田宮 崇	492
上牧温泉における保健・医療・福祉多角化構想の実践と今後の課題	北爪銀象	497
健康増進施設「南大阪ファンクス」に取り組んで	内藤景岳	501
医師会として老人保健施設に取り組んで	渋谷一誠・丹野三男・益田勝児・堀田康哉	505
福祉の立場から考える保健・医療・福祉の連携	山本茂夫	509
形よりも実質を重んじたい保健・医療・福祉—保健所の立場から	櫃本真一	513
〔インタビュー〕聖隷福祉事業団にみる保健・医療・福祉複合体の歩み—長谷川力理事長に聞く	インタビューア・紀伊國献三	517

● 公立病院はこれでいいのか (7)

〔インタビュー〕公立病院のあり方を問う—諸橋芳夫全国自治体病院協議会会長に聞く	インタビューア・大道 久	584
公立病院の役割と機能	一条勝夫	591
公立病院評価の視点	池上直己・針谷達志	596
公立病院の経営	板倉敏和	604
〔座談会〕公立病院はこれでいいのか	寺田一郎・高橋勝三・河北博文・伊賀六一	609

● 新診療報酬と今後の対応 (8)

〔覆面座談会〕新診療報酬体系を斬る—病院経営者、研究者による率直批評	680
改定によって何が生じたか、病院経営はどうなるか 大規模病院の立場から—財団法人竹回綜合病院	688
中規模病院の立場から—財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院	693
小規模専門病院の立場から—東京・伊藤病院	698
総合病院と眼科病院を比較して—医療法人きっこう会	700

入院医療管理病院の立場から—医療法人社団充会	
上川病院	吉岡 充 702
老健施設をもつ病院の立場から—医療法人社団延山会	
苦牧澄川病院	岩本光存 706
精神病院と併設老健施設では—医療法人静和会	
浅井病院	浅井邦彦 709
新診療報酬で良質な看護の提供は望めるのか	
今回の改定のねらい—厚生省保険局	森山弘子 713
職能団体の立場から—社団法人日本看護協会	
	杉谷藤子 718
基準看護未取得病院の立場から—医療法人社団	
三奉会井上病院	井上信彌 722
● ストックからフローへ—総合的物品管理システムをめざして—	(9)
最近の病院物流システムの考え方	中野 明 782
総合的な院内物品管理とそのシステム化の課題	
	三田村清幸 788
病院の物流管理における医療情報システムの役割	
	酒井順哉 794
総合的物品管理供給システムの運用	幅田芳弘 800
中規模病院における物品管理	能嶋秀信 805
院外物流情報ネットワーク(VAN)と院内物品管理	
	東條隆英 808
手術部の物品管理とバーコードシステム	大久保 憲 812
滋賀医科大学附属病院総合医療情報ネットワークシステムにおける物流管理モジュール	富岡昌邦・他 816
● 在宅ケア新時代—	(10)
21世紀の在宅ケアを求めて—老人の在宅ケアを中心として	辻 哲夫 870
病院が進める在宅ケア	小山秀夫 878
在宅ケアの組織化に何が必要か—ソーシャルワークの立場から	岩見太市 883
公的病院で在宅ケアと取り組んで—ゼネラルコーディネーターの立場から	岡島重孝 886
在宅ケアにおける医療面での有機的な連携を考える—	
老人訪問看護ステーションを開設して	宮崎和加子 890
病院、老健施設、そして在宅へ—“大原健康村”構想の実現に向けて	児玉博行 894
開業医が望む在宅ケア新時代の病診連携	
東京都渋谷区医師会の地域活動—老人訪問看護事業への展開とその経験	川上忠志 899
都心で透析医療から在宅ケアを手がけて	野中 博 903
名古屋市在宅療養支援事業の実情と課題	水野 勉 906
〔座談会〕在宅ケア新時代	
	伊藤雅治・杉山孝博・矢野 聡・岩崎 榮 910
● 民間病院の承継はどうなる—	(11)
相続税の仕組みと対策	長 隆 974
これからの医療法人制度	田中重代 983
特定の医療法人の現況	井手義雄 988
承継について私はこう考える	
	岡山 清・竹本範彦・中西 泉 992
〔座談会〕民間病院の存続は可能か	
	千葉兼三・安藤高夫・中西 泉・竹内 實 997

● 第2次医療法改正のインパクト—	(12)
第2次医療法改正までの歩み	高木安雄 1058
特定機能病院と紹介外来	濃沼信夫 1064
療養型病床群への転換はどうなるか	中 佳一 1068
広告と医療—規制緩和に向けての病院の対応を考える	
	亀田俊忠 1072
医療法改正と理念規定	長吉洋司 1075
次期改正に望む	丹野清喜・秀嶋 1079
宏・本多徳児・河崎 茂・清成正智・武下 浩	1079
〔インタビュー〕医療法改正と医師—厚生省健康政策局	
計画課伊藤雅治課長に聞く	聞き手・紀伊國猷三 1089
特集資料：改正医療法に係わる政令、省令及び告示案	
要綱	1096

グラフ

地域社会にしっかり根を張る病院づくり—市立	
砺波総合病院	9(1)
福祉を視点に入れた老人医療を展開—岡山県倉敷市・	
柴田病院	105(2)
協同組合精神を基盤に、地域に深く根ざした医療を展開—上都賀総合病院	201(3)
歴史の重みと先見性が織りなす施設づくり—鹿島	
白十字施設群	289(4)
ホスピタリティ豊かな環境で良質の医療の提供を目指す—岐阜県・松波総合病院	385(5)
病院新時代の幕開けとなるか—新聖路加国際病院が開院	479(6)
地域中核病院としての期待に応える—横浜市立市民病院	575(7)
地域リハビリの中核施設として飛躍的に充実—兵庫	
県立リハビリテーション中央病院	671(8)
総合的な健康福祉システムの構築を目指す—浦谷町	
町民医療福祉センター	773(9)
統合第一号病院の重責を担う—国立南和歌山病院	861(10)
難治性がん診療・研究の拠点—緩和ケア病棟も併設して国立がんセンター東病院が始動	965(11)
「やさしく温かい医療」を追求—香川県・三豊総合病院	1043(12)

人

齋藤和雄・全国国立病院長協議会会長	岡崎 通 16(1)
有澤源蔵・医療法人有恵会理事長	中野博光 112(2)
平尾紘一・葉山病院院長	岡田 朗 208(3)
七野 護・(財)救急振興財団常務理事・救急救命	
中央研修所長	谷 修一 296(4)
鈴木 信・第30回日本病院管理学会会長	岡本 健 392(5)
秀嶋 宏・第5代全日本病院協会会長	早川大府 486(6)
山田 浩・第31回全国自治体病院学会会長	相川直樹 678(8)
古川俊之・国立大阪病院院長	西 三郎 780(9)
遠山正道・(財)日産厚生会佐倉厚生園園長	荻野 貢 868(10)
唐木清一・国保直営総合病院君津中央病院院長	
	山口 昇 972(11)
石垣靖子・東札幌病院看護部長・副院長	山崎章郎 1050(12)

主 張

施設間機能連携の意味するもの	17(1)
病院経営とゴールドプラン	113(2)
医療にも豊かさを	209(3)
病院医療の診療報酬を考える	297(4)
社会保険診療報酬改定の流れを読む	393(5)
病院と地域とのつながり	487(6)
問われる医療計画の見直し	583(7)
病院経営と事務職員	679(8)
これからの病院の外來	781(9)
国民医療費を国民総生産対比9%に	869(10)
新しい病院経営計画が必要	973(11)
看護副院長のすすめ	1057(12)

特別企画／今日の視点／特別寄稿

'90年代の病院経営—私はこう見る	
橋本洋一・太田茂樹・瀬戸泰士・市川 尚・石山 紘・中西 泉・花岡和明・中島明彦・小林武彦・河野稔彦・児玉博行・川合清毅・加納繁照・吉田 寛・荒尾素次・手東昭胤・細木秀美・高木寛之・西島英利	47(1)
チーム医療における放射線技師の専門性とは	海老根精二 210(3)
病院組織と人間関係	佐藤俊一 431(5)
老人外來医療における学際的総合評価	ルース=キャンベル・前田満寿美 1010(11)

特別記事

日本における医療と他産業との比較論—全国若手医療管理者合同研修会から	
河北博文・小山秀夫・西澤寛俊・竹川節男・川合清毅・大塚宣夫・高木安雄・勝呂敏彦・麻生 泰	251(3)
北海道医師会における看護職員需給調査(中間報告)から	
北海道医師会看護職員需給調査専門委員会	343(4)
〔てい談〕総合病院と精神科医療	
金子仁郎・飛鳥井望・広田伊蘇夫	542(6)
精神保健法で病院精神医療はどう変わったか	
高臣武史・藤野ヤヨイ・金杉和夫・関 健	616(7)

インタビュー／Report

日本病院管理学会初代理事長・川北祐幸氏に聞く	346(4)
高齢化社会の医療と経済	缸 暎雄 646(7)

研究と報告

中国における医療従事者の行動文化に関する基本的特徴	李 矢禾・張 宝庫 447(5)
職員の力では変えられない経営条件の病院経営に及ぼす影響	阿部廣介 628(7)
中小民間病院の自己評価	小野隆男・他 1005(11)
看護補助者業務の集中化について	阿部廣介 1005(12)

精神科医療 総合病院の窓から (広田伊蘇夫)

老人痴呆：その見立ての歴史	68(1)
メランコリックな人々の群れ	156(2)

精神科治療の動態と望むこと	246(3)
業深きもの：精神科医の仕事	364(4)
精神科医療における“感性の覚醒”	436(5)

実践・病院のマネジメント (井手道雄)

共通の価値観について	532(6)
------------	--------

今、なぜ戦後医療技術史か (上林茂暢)

高齢者のQOLをたかめた技術	163(2)
蘇生技術の進歩とその今日的課題	739(8)
高度医療と生死観〔1〕	923(10)

現代病院長論

新任病院長1年間のチャレンジから—〔1〕餅を絵に描く	古川俊之 536(6)
新任病院長1年間のチャレンジから—〔2〕日本の病院の“進後性”いろいろ	古川俊之 632(7)
新任病院長1年間のチャレンジから—〔3〕危機管理5か条	古川俊之 726(8)
市立舞鶴市民病院院長10年の経験から〔1〕	瀬戸山元一 822(9)
市立舞鶴市民病院院長10年の経験から〔2〕	瀬戸山元一 918(10)

事例・医療施設間連携

船橋市立医療センターにおける病診連携—病院のオープン化とその活性化	
佐藤裕俊・小沢 俊・奥山武雄・近藤宣雄・山中義忠・矢走英夫・栗原宣夫	80(1)
民間病院オープン化の成果と課題—小文字病院の経験から	津村隆三・江田 修 175(2)
プライマリ・ケアの質の向上を支える—宗像医師会病院における病診連携	草場公宏 355(4)
5周年を迎えた市立長浜病院の開放型病棟	秋山泰高・上松貞彦 453(5)
開業医から病院へ望む—東京・三鷹市の経験から	中村 努 745(8)
海津郡医師会病院—開院後1年9か月目の現況	鬼束惇義 836(9)
千葉市における病診連携の現況と課題—病院・医師会それぞれの立場から	村上 和・藤森宗徳・木下 昌 1112(12)

建築と諸備

大阪府立母子保健総合医療センター	伊藤 誠 73(1)
給食設備	山本 辰芳・小林重芳・甲斐行雄 167(2)
高齢者入所施設3題	
河口 豊・張 忠信・網代友衛・野口恵一郎	261(3)
横浜市立市民病院	栗木 森 349(4)
オーストラリア・ニュージーランドの病院	小滝一正 441(5)
院内搬送システム	
辻野純徳・小室克夫・三村澄夫・松浦 學	525(6)
聖路加国際病院	丸谷武久・瀬川 寛 638(7)
病院の建築面積とその部門別配分—1980年代	
伊藤 誠・中山茂樹・劉 雨揚・河口 豊	731(8)

霊安室

八木澤壯一・寺田 香・津嘉山朝達・能嶋秀信・ 柴田昌雄	830(9)
山梨県立北病院	藤橋和光 931(10)
マーストリヒト大学病院	長澤 泰 1016(11)
病院内感染と設備	古橋正吉・辻野純徳 1105(12)

統計のページ

病院看護職による保健相談・指導(1)―実施体制と

看護職員	菊池令子 88(1)
病院看護職による保健相談・指導(2)―対象者、件数、 相談内容	菊池令子 180(2)
病院看護職による保健相談・指導(3)―地域に開かれた 医療・看護の窓口	菊池令子 272(3)
病院看護職による保健相談・指導(4)―患者からの評価	菊池令子 368(4)
「1991 年病院における訪問看護実態調査」より―〔1〕 訪問看護と診療報酬	岩下清子 556(6)
「1991 年病院における訪問看護実態調査」より〔2〕 医師と看護婦の関係	岩下清子 654(7)
「1991 年病院における訪問看護実態調査」より―〔3〕 在宅ケアのネットワークづくりが課題	岩下清子 750(8)

厚生行政展望 (厚生行政研究会)

介護機器の開発	90(1)
介護費用について	154(2)
病院の PR 戦略	270(3)
診療報酬点数改定(総論)	362(4)
診療報酬点数改定(各論・総合病院について)	458(5)
診療報酬点数改定(各論・病院と診療所の連携)	550(6)
診療報酬点数改定(各論・老人医療)	650(7)
先端厚生科学技術の動向(上)―遺伝子治療	748(8)
先端厚生科学技術の動向(下)―介護機器	842(9)
地域医療と老人保健福祉計画	940(10)
医療法改正による診療科名の追加	1026(11)
改正医療法と特定機能病院	1132(12)

看護管理の目 (川嶋みどり)

看護ヒューマンパワーの無駄使いをしない管理	70(1)
申し送りは廃止できるか	158(2)
ターミナルケアと看護体制	248(3)
看護管理者に求められる経済感覚	370(4)
看護管理と主婦のセンス	438(5)
看護婦から見た院長論	648(7)
看護学生実習に見直しの機運が	752(8)
新人が育つまで	844(9)
安全管理と事故処理の目	946(10)
診療介助業務の見直しと医師との関係	1024(11)

病院経営 Q & A

病院長のリーダーシップ	川渕孝一 86(1)
病院のリストラクチャリング	川渕孝一 160(2)
病院組織	白髪昌世 268(3)
院内コミュニケーション	白髪昌世 366(4)

動機づけ	小山秀夫 460(5)
院内教育	小山秀夫 552(6)
救急医療	寛 淳夫 652(7)
病室基準	寛 淳夫 754(8)
看護問題	星野桂子 840(9)
診療情報管理	星野桂子 944(10)
病院関係法令	白髪昌世 1028(11)
病院の在庫管理	川渕孝一 1118(12)

病院アメニティの改善

病院アメニティ改善の視点	小滝一正 94(1)
大阪厚生年金病院におけるアメニティ改善への 取り組み	増原建二 182(2)
必要性に基づくアメニティの追求―(財)太田綜合病院 附属太田西ノ内病院	松崎公昭・他 278(3)
アメニティ改善への取り組み―青森市民病院	阿部廣介 468(5)
沖縄県・ハートライフ病院	天願 勇 554(6)
医療法人白水会白川病院	野尻 眞 756(8)
鐘紡記念病院	気賀俊夫 846(9)

MSW の相談窓口から

患者の背後の問題に迫る	小松智世美 72(1)
ある日の業務日誌から	高橋紀夫 184(2)
交通事故による若者の死を悼む	高橋紀夫 250(3)
施設まわり	高橋紀夫 466(5)
今あらためて医療社会事業について	沼尻香代子 559(6)
3 度目の大失敗	高橋紀夫 656(7)
患者と障害者のあいだ	沼尻香代子 762(8)
あすなろ会	高橋紀夫 829(9)
病院と社会福祉施設のあいだ	沼尻香代子 930(10)
外国人の医療をめぐる	高橋紀夫 1030(11)
病院と地域社会のあいだ	沼尻香代子 1104(12)

病院管理フォーラム

〔臨床検査〕

検査の外注を考える	高橋正雄 92(1)
ランチ検査室を斬る・1	高橋正雄 186(2)
ランチ検査室を斬る・2	高橋正雄 274(3)
臨床検査技師と“センセイ”	高橋正雄 374(4)
病院組織図の見直し・1	高橋正雄 462(5)
病院組織図の見直し・2	高橋正雄 562(6)
臨床検査技師の採血業務	高橋正雄 658(7)
検査過誤と法的責任・1	高橋正雄 758(8)
検査過誤と法的責任・2	高橋正雄 848(9)
検査技師の病理解剖	高橋正雄 948(10)
業務の制限と範囲の拡大	高橋正雄 1032(11)
生涯教育研修制度スタート	高橋正雄 1124(12)

〔人事・労務〕

看護婦募集あれこれ	関根 茂 93(1)
職場の活性化	関根 茂 275(3)
昇任資格試験で管理・監督者任用へ	関根 茂 465(5)
管理職教育について	関根 茂 657(7)
新人教育戦略	関根 茂 850(9)

研究活動助成で意識の高揚を	関根 茂	1033(1)
[薬剤]		
薬剤師の病棟活動・1	近藤元三	188(2)
薬剤師の病棟活動・2	近藤元三	276(3)
薬剤師の病棟活動・3	近藤元三	372(4)
特殊製剤の消毒薬の傾向	柳川忠二	464(5)
特殊製剤—保険制度の弊害	柳川忠二	564(6)
薬剤科におけるコンピュータ化	縣 和宏	660(7)
医療品情報の効率的利用	縣 和宏	760(8)
[環境整備]		
病院の環境整備とは	酢屋ユリ子	189(2)
ベッドセンター	酢屋ユリ子	375(4)
院内感染症と汚染管理	酢屋ユリ子	560(6)
インテリアの管理	酢屋ユリ子	759(8)
病院の廃棄物対策	酢屋ユリ子	951(10)
繊維製品の管理とリネンセンター	酢屋ユリ子	1126(12)
[栄養]		
選択メニュー方式のシステム化	中村丁次	190(2)
診療報酬改定で栄養業務は新時代に	中村丁次	373(4)
必要な NST の組織化	中村丁次	563(6)
医療法改正と栄養業務	中村丁次	761(8)
在宅医療と栄養指導	中村丁次	950(10)

改正医療法への対応	中村丁次	1127(12)
-----------	------	----------

病院管理用語解説

人口, 医療法人	一条勝夫	79(1)
経営, 管理, 作業/患者, 患者数	一条勝夫	277(3)
指数と変化率/室料差額	一条勝夫	467(5)

看護管理用語解説

看護管理	草刈淳子	191(2)
看護組織	草刈淳子	361(4)
基準看護	高橋美智	565(6)
看護管理過程	草刈淳子	763(8)
看護方式	高橋美智	939(10)
勤務体制	高橋美智	1122(12)
☆海外医療事情	濃沼信夫	135(2), 236(3), 408(5), 二木立 898(10), 943(10), 1023(11)
☆書評と紹介	天明佳臣	85(1), 北川定謙 417(5), 伊藤 誠 453(5), 荒井蝶子 705(8), 姉崎正平 877(10), 乾 英明 1031(11), 千葉紘子 1088(12), 坂部長正 1095(12), 大谷藤郎 1121(12)
☆読者の声	八木博次	821(9), 諸橋芳夫 952(10)

●わが国の医療機関の現状を集載する便覧

病院要覧 1992年版

全国病院名簿 全国医療関係機関・施設一覧, 統計表 全国病院索引

編集
厚生省
健康政策局
総務課

Ⅰ 全国病院名簿 全国10,100余の病院を網羅。都道府県, 開設者, 管轄保健所別に区分配列。各病院は, 病院名, 開設者, 郵便番号, 所在地, 電話番号, 診療科目, 病床数, 院長名, 管轄保健所を記載し, 総合病院, 救急病院についても表示。

Ⅱ 全国医療関係機関・施設一覧 病院を所管する各省, 各都道府県の機構, 医療関係団体, 医・歯・薬科大学, 研究所, 臨床研修指定病院を記し, さらにパラメディカルのための養成所および養成施設など, 全国の医療関係機関・施設を広く収録。

Ⅲ 統計表 病院数, 病床数, 医師数をはじめ, 平均在院日数, 病床利用率などあらゆる角度からとりあげ, 利用者がわが国の医療の現状を知るうえに役立つ各種統計を収録。

Ⅳ 病院名索引により全国の病院が速やかに検索可能。

● B5 頁572 1992 定価15,450円(税込) 千400



医学書院

1113-911

東京・文京・本郷5-24-3

☎03-3817-5657 (お客様担当)

振替 東京 7-96693

☎03-3817-5650 (書店様担当)